

東京都港区大会を終えて



東京都港区立小中一貫教育校赤坂学園赤坂小学校・中学校 校長 高松 政則

第50回全日本教育工学研究協議会全国大会東京都港区大会が盛況のうちに終えることができました。全国各地からおおよそ2日間で延べ1,800名近い皆様にご参加いただくことができましたことに、この場をお借りして御礼を申し上げます。

本大会に向けては小学校2校、小中一貫教育校2校で授業を公開させていただきました。日頃からの実践を大会に向けて更なる研究を重ね、授業を提案していただいた教職員の皆さま、そして、研究を導いてくださった指導者の皆さま、貴重なご講演をいただきました文部科学省初等中等教育局学習情報基盤・教材課の寺島史朗様、本会会長の東京学芸大学教授の高橋純様をはじめ、研究のご発表をいただいた実践研究に関わる研究者の皆さま、ワークショップ・企業展示に携わった関係者の皆さま、港区内の先生方に深く感謝を申し上げます。

さて、50回の歴史を誇る本教育工学研究協議会全国大会ですが、東京都での開催は昭和51年の第2回大会を皮切りに今大会で5回目を数えることとなりました。前回の東京大会からは実に20年ぶりの開催となります。これまで全国各地で取り組んでこられた素晴らしい研究が発表され、広くその成果が共有されてきました。しかし、GIGAスクール構想において、すべての児童・生徒が情報端末を持った現在、学校では解決すべき課題が山積しております。そこで、東京都大会のテーマを「NEXT GIGA ～創造性を育むICTを活用した新しい時代の教育を目指して～」と掲げ、これまでの長い歴史の中で培われてきた研究の成果と蓄積を生かし、さらなる飛躍を目指すための一助となるよう大会実行委員で準備を進めてまいりました。大会の開催のご縁をいただいた経緯として、本校はコロナ禍の令和3・4年に本区教育委員会研究パイロット校として「自ら学び、自ら考え、主体的に行動できる生徒の育成」と題して、個別最適化され資質・能力が一層確実に育成できる教育のICT化について研究を進めてきた中で、本会会長である高橋純先生のご指導を受けたことがきっかけとなっています。全国37の地域研究団体からなる2,000人に及ぶ団体会員様や42社の賛助会員の皆様、100名を超える研究者の皆さまをお迎えしての開催には身が引きしまる思いとともに緊張感が高まりましたが、第50回を迎える記念すべき大会をぜひ東京都で開催しようという関係者の皆さまのご協力もあり本会事務局や関係省庁に近い港区でお引き受けすることとなりました。

本区ではGIGAリーダー研修や協働的な学び推進研修を開催し、タブレット端末を活用した研修に取り組み、成果を自校に還元することで教育力の向上に向けた取組を推進しています。今大会を開催させていただいたことは、本区の教員だけでなく児童・生徒にとっても大きな財産となりました。全国からご参加いただいた皆様と共にこれからのICTの活用の在り方を考え共有できたことを大変うれしく思っています。

来年度の全国大会は、およそ2万人の研究従事者を有する我が国最大のサイエンスシティであり世界的な科学技術の拠点都市である、つくば市で開催されます。次の大会が、さらに素晴らしい大会となることを祈念し、御礼の言葉とさせていただきます。

2024

vol.4

発行日 2025年1月31日
発行所 日本教育工学協会
発行人 高橋 純
制作協力 株式会社 帆風
事務局
〒105-0001
東京都港区虎ノ門2-10-1
虎ノ門ツインビルディング1階
TEL: 03-5575-0871
FAX: 03-5575-5366
<https://jaet.jp>

Next GIGA ～創造性を育むICTを活用した新しい時代の教育を目指して～

JAET事務局

1. 開催報告

50回開催の記念大会である第50回全日本教育工学研究協議会全国大会は、東京都港区で開催しました。10月25日(金)、26日(土)の2日間にわたり、「Next GIGA ～創造性を育む ICT を活用した新しい時代の教育を目指して～」を大会テーマとし、教育工学の最新トレンドと実践方法を探求しました。公開授業には745名、大会2日間で1,776名の教育関係者が参加しました。

2. 公開授業

公開授業は、港区立小中一貫教育校赤坂学園赤坂小学校・赤坂中学校、港区立麻布小学校、港区立白金小学校、港区立小中一貫教育校お台場学園港陽小学校・港陽中学校の6校で61授業が実践され、公開授業後は、各学校で研究協議会が行われました。また、港区立白金小学校は、当会がすすめている学校情報化認定の2024年度の先進校に表彰されました。GIGAスクール構想における最先端のICT授業が展開されました。



写真1 公開授業の様子

3. 全体会1日目

全体会は赤坂中学校体育館とし、各教室をサテライト会場として行いました。第50回記念講演／基調講演には、文部科学省初等中等教育局学校情報基盤・教材課課長の寺島史朗氏より「GIGAスクール構想の推進について」と題して、GIGAスクール構想の成果と課題について、令和6年度全国学力・学習状況調査の結果のポイントを交えてお話いただきました。そ



写真2 満員のメイン会場

のなかでは、直面する課題としてあげていた通信ネットワークの着実な改善として、学校のネットワークの現状や改善に向けた対応等について、そして、個別最適な学びと



写真3 文部科学省寺島課長様

協働的な学びの一体的な充実に向けてリーディングDXスクールの実践を交えながらご講演いただきました。また、第50回記念講演／特別講演には、当会会長であり東京学芸大学教授の高橋純氏より、「日本教育工学協会のさらなる飛躍に向けて」と題し、設立50年を振り返りお話しされました。会場では32社の企業が参加し、最新の製品やサービスを展示しました。

4. 全体会2日目

研究発表セッションでは、全国から応募された148件の様々な実践や研究が紹介され、教育の未来に向けた革新的なアイデアと成果が共有されました。加えて、6つの企業や団体によるワークショップでは、教育の現場での実践と課題についての熱心な議論が行われました。



写真4 研究発表の様子

最後のプログラ

ムでは、公益財団法人パナソニック教育財団設立50周年、第50回全日本教育工学協議会全国大会記念パネルディスカッションとして、当会の高橋会長をコーディネータに、奈良市、柏市、富山市、春日井市の先生方をパネリストに迎え、「すべての子供たちが主語となる授業づくりとは～Next GIGAで創る本質に迫る授業～」と題し、トークセッションが行われました。閉会セッションでは、次回の茨城つくば大会に向けての期待と意気込みが共有され、今回の大会は成功裏に終了しました。



自ら学びを深めようとする児童・生徒の育成 ～ ICTを活用した授業実践を通して～



港区立小中一貫教育校赤坂学園 赤坂中学校 主任教諭 長谷川 正樹

1. はじめに

赤坂学園は、令和5年4月1日より小中一貫教育校として開校いたしました。今回の授業公開は、9年間の系統的な学びを念頭に、自ら学びを深めようとする児童・生徒が育つ授業実践を行うことを共通の目標としています。授業公開に至るまで、小中学校の教員が日常的に授業観察や情報共有をすることで、双方の学びについて理解を深めてまいりました。この取組をとおして、小中一貫教育校としての基盤がより強いものになったと実感しております。貴重な機会をいただきました。

2. 赤坂学園の9年間を見据えた学び

児童・生徒が自ら学びを深めようとする授業実践には、個別最適な学びをとおした授業実践が必要であると考えました。個別最適な学びを実施するためには、子どもたちが自分に合った学習方法や学習ペースを理解することが必要です。

小学校低学年では、習熟度別学習を児童・教員が意識して取り入れることで、自分に合った学びの基礎作りを実施しています。(写真1)



写真1 習熟度別の目標設定

問題解決型の授業実践では、子どもたちが個々に学習の計画を立て、毎時間の目標設定と振り返りのサイクルを繰り返していきます。小学校低学年の段階で

は、自分に合った目標を選択することや、マークシートを活用した振り返りをとおして、個別最適な学びを行うための基礎作りをしています。

小学校中・高学年では、個別最適な学びを進めると同時に、①情報の収集、②整理・分析、③まとめ・表現をする過程で必要な情報スキルの習得を目標にしています。当初、情報スキルの習得については、学園全体での系統的な習得を目的とした計画を作成する予定でした。しかし、計画を先に立ててしまうと、

情報スキルの習得が授業の目的となる恐れがあります。そのため、授業目標と照らし合わせて、児童が必要としている情報スキルを伝える方針としました。これにより、児童は必要な情報スキルを意欲的に習得することができます。これは教員に対しても同様で、授業展開に必要な情報スキルを自主研修として学び合う教員の姿が見られました。(写真2)

中学校では、個別最適な学びを進めるにあたり生



写真2 必要な情報スキルを学ぶ様子

徒とルーブリックを共有することで、評価方法と学習指導要領に即した習得すべき知識の確認をしています。これにより、生徒は見通しをもっ

て単元計画を考え、学習の方向性を確認しながら学習を進めることができます。また、生徒が個々に学びに向かうことで、教員は授業中に多くの生徒へ声をかけることができます。この際、学習の進め方だけではなく、教科書を超えた専門的な質問への対応や生徒の個性に応じた助言をすることができるため、生徒・教員共に満足度の高い授業を実施することができています。

3. おわりに

公開授業当日の全体協議会では、多くの方々より御意見・御感想を賜りましてありがとうございました。見学いただいた方々からは、生徒が意欲的に学びに向かう姿勢が見られたという御意見を多くいただきました。また、単線型学習と複線型学習のバランスについても御意見をいただきました。議論をとおして、複線型学習をするための時間を確保するためには、質の高い単線型学習や単元を通した課題設定の工夫が必要であることを確認しました。

これからも、児童・生徒・教員が共に成長し続ける赤坂学園を目指し、研究を推進してまいります。

児童を学習の主体者に育てるための 授業デザインを探究していく

港区立麻布小学校 校長 宮島 淳一



1. はじめに

港区立麻布小学校は、「主体的に考え、豊かに表現する児童の育成 ～ICT機器を利活用した授業デザインを通して～」を研究主題として、2年間に渡って東京学芸大学大学院教育学研究科准教授の登本洋子先生に粘り強くご指導・ご助言をいただきながら研究を続けてきました。

2. 発表当日の7学級の公開授業の様子

◆1年生図工科「いっぱい使って何しよう」

透明なプリンカップの形や大きさなどを基に、重ねる・積む・並べる方法を写真で共有し友達のやり方を他者参照しながら、たくさんのカップを使って造形物を作っていくという活動をダイナミックに展開できました。(写真1)



写真1 友達のアイデアを参考に造形物を作成する

◆2年生生活科

「あきからそだてる おいしいやさい」

4種類の中から自分で選んだ秋野菜の育て方について、自分で調べた情報を友達と共有する活動をおして、気付かなかった育て方があることを学び、自身が理解を深める活動でした。

◆3年生総合的な学習の時間

「生き物いっぱい! あざぶビオトープ!」

繁殖していたザリガニを一掃した後の新たなビオトープ再建をテーマに、自然豊かなビオトープにはどのような環境が必要かという「問い」を一人ひとりがもち、各自調べたことを他者参照しながら集中してまとめていました。

◆4年生社会科「とどけよう命の水」

玉川兄弟は、どのように工事を進めたのか、その際どのような工夫や努力・苦労があったのかについて教科書・資料集を読み込んで直接書き込み、その後、視点に基づいて友達と情報共有しながら整理・分析

できました。(写真2)

◆5年生社会科「情報化した社会と産業の発展」

いろいろな産業から各自選択し、IT・IoT・AIはどのような情報を集めてどの



写真2 情報共有して整理・分析する

ように活用されているのかの問いを基に、資料で調べ友達と学び合いました。デジタル教科書やNHK for Schoolの動画コンテンツも自由選択して一人ひとりが情報のまとめに取り組みました。

◆6年生音楽

「和音のひびきや音の重なりを感じ取ろう」

「雨のうた」の旋律を使って、自分の思いや意図にあった表現をするために必要な音楽の縦と横との関係などの音楽の仕組みを用いて作品をつくり、友達と聞き合いながら改善を加えていました。(写真3)



写真3 作った音楽の旋律を友達と聞き合いアドバイスする

◆6年生国語「物語の世界を味わおう」

物語「やまなし」を読み進めるための個別の課題に沿って、表現の工夫に着目しながら物語の世界を具体的に想像し、自分なりに考えたことを様々な方法でまとめて表現することができました。

3. 今後に向けて

発表に向けての研究は一区切りです。この機を授業改善の通過点と捉え、今後も研究を続けます。児童が主体的に取り組める「問い」を吟味し、協働化を促す声掛けに今後も努めていきます。

目的意識・相手意識を働かせて表現できる児童の育成 ～個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を通して～



港区立白金小学校 研究主任 玉木 脩一

1. はじめに

10月25日（金）に開催された本校の公開授業には、北は北海道から南は沖縄まで、全国各地から学校関係者・教育関係者が集い、盛会のうちに終了することができました。まずもってご参会いただいた方々に心より感謝いたします。

2. 公開授業

本校は1・2校時を使って全24学級の公開授業を行い、国語、社会、理科、体育、国際(外国語)などの授業を通して、研究の一端を参観いただきました。

本校の研究は「目的意識・相手意識を働かせて表



写真1 協働的な学びと個別の学びを往還しながら取り組む姿。

現できる児童の育成」を主題に掲げています。また、主題に迫るための方法として「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」を図るようにしています。

そのために、

- ・ICTを活用した学習の手引きの提示
 - ・ICTを活用した学習状況チェックシートの共有
 - ・ICTを活用した学習のめあて・振り返りの共有
- を共通の取組として研究実践を蓄積してきました。

公開授業当日、どの学年の児童も学習の目的を意識し、自身の学習状況や学びやすさを基に、学習方法や学習形態を自己決定しながら主体的に学ぶ姿が見られました。こうして深めた内容を、その後の学習において、目的意識や相手意識を働かせながら考えを交流したり、発表し合ったりする姿が見られました。

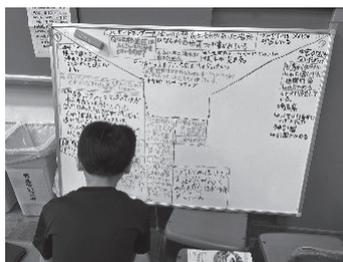


写真2 ホワイトボードを使って自分の考えを表現する姿。

3. 研究協議・指導講評

公開授業後は、各学年に分かれて学年協議会を行いました。付箋アプリケーションを用いて、意見や質問を入力していただき、それに答える形式をとりました。率直な感想や、本時の公開授業だけでは分からなかった研究経緯や児童の変容についてなど、多数いただきました。

全体会では信州大学准教授 佐藤和紀先生から昨年度9月より始まった本研究がどのように変化を遂げていったのか、当時撮影された写真を使いながら指導講評をしていただきました。

4. 研究発表を終えて

「自由進度学習」「ICTの利活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」「デジタル指導案集」「リアルタイムで参観者と意見を共有するチャットの活用」など、今回の研究発表は、本校教員にとって初めての取組だけでした。それは単に新たな手法を用いたというものではありませんでした。「教師が身に付けさせるのではなく、児童自らが力を育んでいけるよう支援する」「教師主体から学習者主体へ」「未来につながる学び方を育てる」など、教師の考え方の変革が先にあり、そこから自ずと生まれてきた取組の数々でした。

11月中旬、研究発表やこれまでの研究について教員全員で振り返る会がありました。児童の変容や教師の変容について、前向きに捉えて喜び合う意見で溢れ返りました。研究は、まだ半ばであります。今回の発表を一つの目標として、研究が真に深まった証であったと言えます。

5. 終わりに

NEXT GIGAという言葉が身近になりつつある黎明期に、50年も続く全日本教育工学研究協議会全国大会の開催にあたり、本校に貴重な研究発表の機会をいただいたことに、改めて心より感謝申し上げます。今後も様々な方々の協力をいただきながら、研究の深化に努めていきたいと思っております。

令和の日本型学校教育へのアップデート ～教師主導から学習者主体の授業へ～



港区立小中一貫教育校お台場学園 港陽小中学校 主任教諭 森 晋

1. はじめに

本校は小中一貫教育校であり、小学校と中学校の教員が同じ研究に取り組み、9年間を見通した体系的な教育を目指しています。本校では研究主題を「自ら考え、主体的に学ぶ児童生徒の育成」として、明星大学の今野貴之教授から約2年にわたり、御指導・御助言をいただきながら、一丸となって研究を進めてきました。

児童・生徒の学ぶ意欲を高め、主体的に学習できる学習者主体の授業を実現するために、1人1台端末を活用しながら、「学習課題や学び方を自分で選ぶ」「クラウドを活用した他者参照」「学習の手引き（課題、流れ、評価）を示す」などに取り組みました。

2. 公開授業より

(1)小学校3年生 国語

「食べ物のひみつを教えます」

本時では、児童一人ひとりが選んだ食材について、事例を挙げながら表現を工夫して文章を書く活動を行いました。授業の導入では、「分かりやすい文章とは何か」の観点を確認するための時間をとりました。学級全体で「文章の良さ」の観点を揃えるために、3分間の一斉指導が効果的でした。

授業の展開では、児童が学習形態を選択し、自力解決を図ったり、課題達成に向けて友達と学び

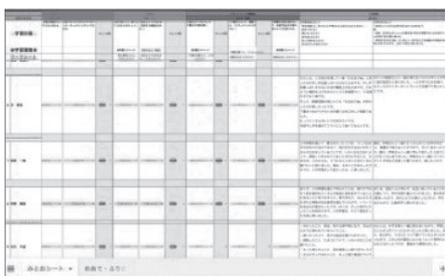


写真1 探究のプロセスを自覚するためのGoogleスプレッドシート

合ったりしていました。探究のプロセスを自覚し、学び方を身に付けた児童が主体的に学ぶことができました。(写真1)

授業の終末では、学習内容と学び方について、振り返りの時間を10分間とりました。クラウドを活用して、毎時間の振り返りを蓄積し、学級全体で共有

できる仕組みを構築しました。そのため、児童は他者参照をとおして、自分自身の学びを価値付けていました。

(2)中学校9年生 理科「運動とエネルギー」

本時は単元内自由進度学習の4時間目でした。教師が教科書に沿って1章分(10時間程度)の課題と評価



写真2 班で実験を行う様子

をあらかじめ示し、生徒は課題に沿って自分のペースで学習に取り組みました。実験は進捗が同じ者同士で班を組み、活動しました。(写真2)

実験が上手くいかないときや不安なときは、再度実験を行ったり、違う班に加わって再度結果を確認したりしました。自分のペースで学習を行うことで、生徒自身が納得いくまで学習に取り組みました。また、結果や考察はGoogleドキュメントとGoogleスプレッドシートを活用して、いつでも他者参照できるようにしておき、自分の考えを広げたり、深めたりすることができました。自由に席を移動して構わないので、直接質問したり、話しながら学習に取り組んだりする生徒もいました。学習の中で生じた疑問を探究する時間を取り、実際に実験を行ったり、インターネットで調べたりしてまとめました。

3. 全体会から

公開授業全体会の今野貴之教授からの指導・講評の中で、「個別最適な学びや協働的な学びは単なる指導方法ではない」「ICTの活用が目的になってはいけない」とありました。今後も研究を進めていく中で、方法論を語るのではなく、常にお台場学園の理念・育てたい児童生徒像を目指して、授業をアップデートしていきたいと思いました。

最後に、約2年間にわたり、ご指導いただいた今野貴之教授に感謝を申し上げます。



東京港区大会 研究発表一覧



《1-A 情報教育(情報活用能力の育成等)》座長：森下孟(信州大学)

1-A-1	デジタル機器を活用した学びの場の創造 -DX加速化推進の展望と課題-	池田明 [大阪府立東高等学校]
1-A-2	小学校2年生のタイピング速度の向上 -ローマ字を学習する前の児童のタイピング練習-	茂木正浩 [星槎大学大学院、港区立港陽小学校]
1-A-3	GIGAスクール端末の現状と次期更新への期待 ~アンケート調査に基づくアプリ・OSへの要望~	望月陽一郎 [大分県立芸術文化短期大学]
1-A-4	実社会における生徒の自由で主体的な調査、交流、探究、 表現等を重視した個性化教育カリキュラムの開発 ~生徒と教師と大学、地域の教育資源をつなぐICT環境の 活用を通して~	桑城光 [香川大学教育学部附属高松中学校] 池内靖昌 [香川大学教育学部附属高松中学校]



《1-B 情報活用能力の育成等》座長：岸磨貴子(明治大学)

1-B-1	ICT活用推進校の児童のキーボード入力スキル習得状況 -ローマ字学習との関係に着目して-	小林幸平 [東京学芸大学教育学部] 豊田大登 [東京学芸大学大学院連合学校教育研究科、葛飾区立東金町小学校] 河村麻里 [葛飾区立東金町小学校] 北澤武 [東京学芸大学大学院教育学研究科]
1-B-2	小学校6年児童のGoogle Classroomストリーム利用に関する 実態調査 ~日常的に活用している実践校の取組から~	山本悠太 [上越教育大学教職大学院] 清水雅之 [上越教育大学教職大学院、上越教育大学]
1-B-3	女子中学校の技術・家庭科技術分野における情報教育の実践 ~ジェンダーの視点を踏まえた日本女子大学附属中学校で の事例~	堀場愛未 [日本女子大学附属中学校] 千石一朗 [NPO法人みんなのコード]
1-B-4	司書教諭科目「学校図書館メディアの構成」における情報 活用能力育成の試み	植田恭子 [都留文科大学]



《1-C 情報モラル、情報セキュリティ》座長：八木澤史子(千葉大学)

1-C-1	小学校の情報モラル教育の実効性を高めるための実践 -汎用性のあるwebアプリケーションを活用して-	工藤敦 [十和田市立北園小学校]
1-C-2	第6学年算数科におけるアンケート作りを通して考える情 報モラル教育	佐々木千鶴 [仙台白百合学園小学校] 佐藤靖泰 [フューチャーインスティテュート株式会社]
1-C-3	小学校低学年の児童および保護者を対象とした情報モラル に関する授業実践の評価	八木澤史子 [千葉大学] 山崎寿代 [広島県教科用図書販売株式会社] 好本仁朗 [広島県教科用図書販売株式会社] 堀田龍也 [東京学芸大学]
1-C-4	児童生徒・保護者・教員を対象とした情報モラル教育の実 践事例	森仁市 [株式会社 夢デザイン総合研究所]



《1-D 教科指導におけるICT活用》座長：毛利靖(茨城大学)

1-D-1	学校林を題材にした探究活動教材の開発と実践	倉田亮輔 [長野県須坂高等学校]
1-D-2	生成AI利用初期段階に見られる児童の学習状況の変容に ついて ~生成AI搭載ロボホンと小学校6年生社会科の授業を通 して~	瓜阪亮磨 [つくば市立みどりの学園義務教育学校]
1-D-3	中学校第3学年における写真や絵から読み取った事実と歴 史的表象を関連付ける学習指導の効果	西本壇 [春日井市立知多中学校] 池ノ谷智紀 [世田谷区立山野小学校] 佐藤和紀 [信州大学]
1-D-4	図画工作における過去や他者の作品の参照を取り入れた実 践と評価 -小学校第3学年「海のそこのひみつ」におけるViscuit の活用-	相田真美 [葛飾区立東金町小学校] 豊田大登 [葛飾区立東金町小学校、東京学芸大学大学院連合学校教育研究科] 北澤武 [東京学芸大学大学院教育学研究科]



《1-E 教科指導におけるICT活用》座長：新地辰朗（宮崎大学）

1-E-1	児童が教科書から学習問題と見方・考え方に関わる記述を捉えて立てる「課題の設定」に関する指導の効果	池ノ谷智紀 [世田谷区立山野小学校] 遠藤みなみ [富士市立岩松中学校] 西本壇 [春日井市立知多中学校] 稲木健太郎 [鳴門教育大学大学院] 佐藤和紀 [信州大学]
1-E-2	小学生を対象としたミニドローンを用いた探究学習の試み	近喰帆乃加 [東京学芸大学教育学部] 池之上勇斗 [東京学芸大学大学院教育学研究科] 家元瑛基 [東京学芸大学教育学部] 北澤武 [東京学芸大学大学院教育学研究科]
1-E-3	武雄市の“もっと、こどもまんなか”を実現する授業デザイン - 「授業構想シート」による点検と共有 -	野田浩輔 [武雄市教育委員会] 新地辰朗 [宮崎大学]
1-E-4	小学校理科の天体におけるシミュレーションソフトを用いた学習方法の提案	河野大空見 [仙台白百合学園小学校] 佐藤靖泰 [フューチャーインスティテュート株式会社]



《1-F 教科指導におけるICT活用》座長：清水和久（金沢星稷大学）

1-F-1	自由進度学習が各学力層に与える効果の実証研究 ～算数科授業における学習成果の比較分析を通して～	高橋陸 [栗原市立築館小学校]
1-F-2	GIGAスクール環境下における中学校技術のプログラミング ～「スモウルビー」を活用した双方向性のあるコンテンツ のプログラミング～	瀬崎邦博 [島根県メディア教育研究会] 高尾宏治 [Rubyプログラミング少年団]
1-F-3	HDMで視聴可能な双方向型教材の作成と実践授業の試行 - STYLYで作成したコンテンツを活用して -	清水和久 [金沢星稷大学]
1-F-4	要約指導の導入に関わる一考察 ～動画制作や画像タイトル作りを出発点として～	武田直也 [松阪市立米ノ庄小学校] 楠本誠 [松阪市立米ノ庄小学校]



《1-G 教科指導におけるICT活用》座長：安藤明伸（広島工業大学）

1-G-1	理科における自己評価を軸とした自己調整学習の取り組み について - ICTを用いたOPPシートの活用を通して -	馬淵大輔 [那覇市立松島小学校、沖縄県マルチメディア教育研究会]
1-G-2	ICT を効果的に活用した小学校国語科学習	中里優子 [横浜市立立野小学校]
1-G-3	クラウド型MALL システム活用による外国語の授業	矢出大介 [和歌山大学] 豊田充崇 [和歌山大学]
1-G-4	小学校音楽科における生成AI活用の在り方 - 鑑賞・音楽づくりでの二事例を通して -	北川真里菜 [和歌山大学教育学部附属小学校、広島大学大学院生]



《1-H メディア教育、メディア・リテラシー》座長：豊福晋平（国際大学GLOCOM）

1-H-1	授業実践における放送番組の効果的な活用 ～いつでも、どこでも、だれでも、番組を活用できるように～	佐藤司明 [相模原市立小中学校視聴覚教育研究会、相模原市立谷口台小学校] 森山日花里 [相模原市立小中学校視聴覚教育研究会、相模原市立九沢小学校] 西岡裕太 [相模原市立小中学校視聴覚教育研究会、相模原市立中央小学校]
1-H-2	低年齢層の子どものメディアバランスに関する調査	勝見慶子 [明治大学 法と言語科学研究所] 今度珠美 [関西大学大学院]
1-H-3	小学校におけるソーシャルメディア利用時のデジタル足あと について考える実践提案	古矢岳史 [練馬区立石神井台小学校] 林一真 [岐阜聖徳学園大学] 今度珠美 [関西大学大学院]
1-H-4	デジタル・シティズンシップ実践授業の事後アセスメント 質問票の開発	豊福晋平 [国際大学GLOCOM]



《1-I 特別支援教育／その他》座長：黒上晴夫（関西大学）

1-I-1	自己理解と行動調整力の育成に向けた実践レポート ～感情記録AIアプリとロールプレイの活用～	保坂真奈美 [つくば市立みどりの学園義務教育学校]
1-I-2		
1-I-3	小学生のフィードバックリテラシーを育成するための学習 プログラムの設計	木野裕太 [山梨大学大学院教育学研究科] 山内佳鈴 [山梨大学大学院教育学研究科] 三井一希 [山梨大学教育学部]

1-I-4	他市町村でも転用できるデジタル副読本のあり方	大野寛文 [北海道深川市立一已小学校] 新藤駿 [山形県南陽市立梨郷小学校] 黒坂俊介 [北海道岩見沢市立第二小学校] 大野すい [北海道深川市立音江小学校]
-------	------------------------	--



《 1-J 教員研修、教員養成 》 座長：木原俊行 (四天王寺大学)

1-J-1		
1-J-2	教員の教師エージェンシーとウェルビーイングに着目した小学校の取り組みの実践と評価	豊田大登 [葛飾区立東金町小学校、東京学芸大学大学院連合学校教育学研究所] 河村麻里 [葛飾区立東金町小学校] 北澤武 [東京学芸大学大学院教育学研究科]
1-J-3	「話す力」「聴く力」育成の新しいアプローチ ～データ分析を通じた授業研究の取り組み～	梅野哲 [相模原市立中野中学校] 岡本一郎 [相模原市立中野中学校] 樋口紗衣 [株式会社JMC]
1-J-4	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した授業に対する市内小中学校教員の理解と指導に関する実態調査	宮崎靖 [小矢部市立津沢小学校] 上田昌寛 [小矢部市教育センター] 中尾教子 [神奈川工科大学]



《 1-K 教員研修、教員養成 》 座長：梶本佳照 (新見公立大学)

1-K-1	STEAMライブラリーを活用したふるさと教育の推進	八波直樹 [大田市教育委員会]
1-K-2	360度VR授業映像を活用した教員研修デザインの構築と普及	前田昌志 [三重大学教育学部附属小学校]
1-K-3	研修生自らがDX化の実践者となることを目指して ～教育センターの研修での新たな取組～	荒川博章 [千葉県総合教育センター] 竹本勇一 [千葉県総合教育センター]
1-K-4	自他の幸せを求め、主体的・協働的に学び続ける生徒の育成	徳永 潤治 [熊本市立桜山中学校]



《 1-L ICT支援員及びサポート体制の構築・運営/J. その他 》 座長：近藤千香 (東京科学大学附属科学技術高等学校)

1-L-1	NEXT GIGAスクール環境下の学校現場でICT 利活用促進に邁進するICT 支援員 (情報通信技術支援員) のスキル育成について考える ～日本ICT 支援員協会会員への過去3年に渡るアンケートの結果から～	後藤政洋 [株式会社 夢デザイン総合研究所、一般社団法人 日本ICT支援員協会] 木村裕文 [株式会社 夢デザイン総合研究所、一般社団法人 日本ICT支援員協会] 山西潤一 [富山大学 名誉教授]
1-L-2	生成AIを活用した授業を実践した教員に影響を与える要因の分析 -小学校第6学年国語科「いざという時のために」を対象として-	松本萌花 [東京学芸大学大学院教育学研究科] 豊田大登 [葛飾区立東金町小学校、東京学芸大学大学院連合学校教育学研究所] 北澤武 [東京学芸大学大学院教育学研究科]
1-L-3	表現する楽しさを味わうためのICT活用	金田聡美 [茨城県つくば市立竹園東幼稚園]
1-L-4	自ら問いを立て深い学びを導く探究活動の指導法 ～身近な問題を「自分事」化することから主権者意識を高める試み～	近藤千香 [東京科学大学附属科学技術高等学校] 玉田和恵 [江戸川大学]



《 1-M その他 》 座長：三宅貴久子 (瀬戸SOLAN小学校)

1-M-1	個人探究で必要となる対話力を育成するための教科型プロジェクトの実践と評価	三宅貴久子 [瀬戸SOLAN学園初等部] 泰山裕 [中京大学] 小島亜華里 [奈良教育大学]
1-M-2	話し合い活動に対する児童の認識 -小学校第4学年プロジェクト学習の事例より-	鈴木慶樹 [瀬戸SOLAN学園初等部] 小島亜華里 [奈良教育大学]
1-M-3	国際「探究」学習を“カンボジアの教室”と創る -責任感、達成感、貢献するところ、呼応する子どもたち-	君塚磨 [日本福祉大学付属高等学校]
1-M-4	指導者用デジタル教科書の活用が児童の学びに及ぼす効果	山本楓華 [日本女子大学] 榎本聡 [日本女子大学]



《 2-A 情報活用能力の育成等 》 座長：森下孟 (信州大学)

2-A-1	IT要素を取り入れたクラブ活動の推進と生徒の興味・関心の追求	神長貴博 [NTTテクノクロス株式会社] 渡邊竜介 [NTTテクノクロス株式会社]
2-A-2	ITエンジニアによるキャリア教育プログラムの実践と改善	神原健一 [NTTテクノクロス株式会社]



2-A-3	学校図書館の「学習・情報センター」機能の充実におけるICT活用 - 国際バカロレア教育における探究学習促進・情報活用能力向上を目指して -	新名主敏史 [私立学校法人津曲学園 鹿児島修学館中学校・高等学校]
2-A-4	自己調整スキルの育成を促す運動ふり返しシートの効果	滝沢雄太郎 [長野市立篠ノ井西小学校] 板垣翔大 [宮城教育大学] 佐藤和紀 [信州大学]



《2-B 情報活用能力の育成等》座長：林一真（岐阜聖徳学園大学）

2-B-1	対話型生成AIが小学生の学習に及ぼす影響：特性の理解と活用の可能性	竹谷正明 [NPO法人みんなのコード]
2-B-2	情報活用能力向上を目指した小学校高学年向けデータ分析教材の開発とその教育効果	林一真 [岐阜聖徳学園大学]
2-B-3	<学びの作品化>を促す学習環境デザインの検討 - 表現方法の多様さが保障された授業に着目して -	宮島衣瑛 [学習院大学大学院、NPO法人みんなのコード] 中村亮太 [東京学芸大学附属竹早小学校]
2-B-4	子供と教師によるリアルタイム・再編集型「情報活用能力マップ」 - みんなで作ろう！「ななえっこ情報活用ずかん」 -	神野藤均 [七飯町立大中山小学校] 高瀬東 [七飯町立大中山小学校] 山口好和 [北海道教育大学]



《2-C 教科指導におけるICT活用》座長：木原俊行（四天王寺大学）

2-C-1	VR・ICTを活用した、主体的に「腹オチ」するための、受動的プログラムの開発と検証	海老原誠治 [三信化工株式会社、いただきます.info、女子栄養大学短期大学部、一般社団法人はしわたし研究所、資源と環境の教育を考える会「エコが見える学校」]
2-C-2	国語科でのグループ活動における、オンラインホワイトボード「miro」の活用と効果 - 「流れ」を可視化したグループ活動の実現に向けて -	石原直哉 [川口市立高等学校]
2-C-3	1人につき1つのチャットスペースを与えた場合における小学校第5学年児童の自主学習の取り組みの変化	山川敬生 [春日井市立松原小学校] 佐藤和紀 [信州大学]
2-C-4	小学校低学年におけるプログラミング教材を用いた算数の授業提案 - Scratch Jrから教科書プログラミング教材へ -	山中晨太郎 [上越教育大学教職大学院] 中野博幸 [上越教育大学教職大学院]



《2-D 教科指導におけるICT活用》座長：毛利靖（茨城大学）

2-D-1	「タブレットPC 1人1台の活用環境による主体的な学びの創造」	井上有希 [相模原市立星が丘小学校、相模原市立小中学校視聴覚教育研究会]
2-D-2	思考し自らの課題を解決する「文字学習」から掘り起こす国語の力 ~文字の指導 [知識・技能] の領域に、ICTをいかに活用していくべきか~	周防雄紀 [札幌市立星置東小学校]
2-D-3	豊かな読み手を育てる小学校国語科 読むこと領域 文学的な文章授業の創造 - ICTを活用した、予習 - 授業 - 復習が往還した授業実践を通して -	亀井雄貴 [宇美町立宇美小学校]
2-D-4	小学校第6学年社会科における学校放送番組の活用方法の一考察	寺岡裕城 [豊中市立豊島小学校] 佐藤和紀 [信州大学]



《2-E 教科指導におけるICT活用》座長：新地辰朗（宮崎大学）

2-E-1	小学校中学年における主体的な学びを支援する授業デザインと評価	田中千彩紀 [東京学芸大学教育学部] 豊田大登 [東京学芸大学教育学部] 北澤武 [東京学芸大学教育学部]
2-E-2	教科指導における個に応じた指導を可能にするアセスメントシートの有効性に関する実践的研究	加藤望 [春日井市立高森台中学校] 小川晋 [春日井市立高森台中学校] 水谷年孝 [春日井市教育委員会] 高橋純 [東京学芸大学]
2-E-3	理科における一人一台端末を活かしたJSLカリキュラムの実践 ~教室内の生徒全員が自ら学ぶ力をつけるために~	河田麻佑 [松阪市立久保中学校] 楠本誠 [松阪市立米ノ庄小学校]

2-E-4	小学校高学年の国語科の授業を対象とした成果物へのコメント機能が学習者の学習の動機づけに与える影響	杉本啓馬 [春日井市立藤山台小学校] 滝沢雄太郎 [長野市立篠ノ井西小学校] 佐藤和紀 [信州大学]
-------	--	--



《 2-F 教科指導におけるICT活用 》 座長：安藤明伸 (広島工業大学)

2-F-1	主体的に学習に取り組む態度を育む、生成AIを活用した授業研究	河内勇貴 [つくば市立竹園東小学校] 小林航 [つくば市立竹園東小学校]
2-F-2	ICTを活用した主体的に学ぶ防災学習に関わる一考察～探究学習を出発点として～	池村和真 [松阪市立朝見小学校]
2-F-3	中学校技術分野のプログラミング教育における他校と連携した指導法の開発	住川泰希 [仙台市立岩切中学校] 安藤明伸 [広島工業大学]
2-F-4	1人1台端末とクラウド環境における「課題の設定」に関する実態調査	岩見一樹 [東京学芸大学大学院教育学研究科] 高橋純 [東京学芸大学教育学部]



《 2-G 教科指導におけるICT活用 》 座長：堀田龍也 (東京学芸大学)

2-G-1	生成AIを転入生としてクラスに加えた理科授業の実践～台風と防災の学習効果と児童の多様性への態度変容～	内田卓 [つくば市立研究学園小学校]
2-G-2	クラウドを基盤とした複線型の授業における学習活動に関する事例研究	久川慶貴 [東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科] 草本明子 [東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科] 高橋純 [東京学芸大学]
2-G-3	クラウド環境下での単元内自由進度学習における追究シートの選択が思考力の育成に与える影響	矢澤拓真 [長野県須坂市立東中学校] 若月陸央 [長野県栄村立栄小学校] 佐藤和紀 [信州大学学術研究院教育学系]
2-G-4	糸鋸の取り付け金具増し締め補助器具の開発 (II)	高野雄生 [東京都立拝島高等学校] 木戸耕太 [国立研究開発法人情報通信研究機構] 滝澤修 [国立研究開発法人情報通信研究機構] 古瀬政弘 [東京学芸大学教育学部]



《 2-H 特別支援教育 》 座長：清水和久 (金沢星稜大学)

2-H-1	知的障がいがある肢体不自由児の数の概念理解を促進しうるワンタップ教材アプリの開発	北村京子 [三重県立度会特別支援学校] 菊池紀彦 [三重大学]
2-H-2	小学校特別支援学級におけるICTを活用した協働的な学びを促す授業デザインの分析と評価	宇野七彩 [東京学芸大学教育学部] 岩佐尚武 [葛飾区立東金町小学校] 豊田大登 [葛飾区立東金町小学校、東京学芸大学大学院連合学校教育研究科] 北澤武 [東京学芸大学大学院教育学研究科]
2-H-3	メタバースを活用したウェルビーイング教育の新たな可能性～学びのセーフティネットとしての役割強化を目指して～	袖山賢治 [長野市立櫻ヶ岡中学校] 山岸建文 [豊野高等専修学校]
2-H-4	ことばの教室の教育DX：対面での「構音指導」を充実させるオンライン支援のあり方～ICTの活用で実現する家庭・教室・外部専門家が協働できる環境作り～	高松敏之 [新潟県長岡市立新町小学校 (中越言語・難聴教育研究協議会)] 埜藤奈美 [一般社団法人ことばサポートネット]



《 2-I 教育・学習用ソフトウェア開発・評価／その他 》 座長：赤堀侃司 (ICT CONNECT 21)

2-I-1	ICT機器を活用した金融教育カリキュラムの開発と有効性検証～開発アプリ「学Pay」を用いた異年齢集団による「附小マーケット」実践を通して～	水谷智一 [神戸大学附属小学校]
2-I-2	生成AIを組み込んだアプリを利用して学習者の振り返りを要約・分類する教育実践の試行	渡辺杏二 [潮来市立延方小学校] 小林祐紀 [放送大学] 森下純一 [スズキ教育ソフト] 鈴木広則 [スズキ教育ソフト] 中川一史 [放送大学]
2-I-3	児童が作成に関与したパフォーマンス課題のシナリオの質の違いが学習方略の決定に与える影響の検討	辻瞳 [学校法人田中学園] 佐藤和紀 [信州大学] 泰山裕 [中京大学]
2-I-4	英国のコンピューティング教育に関する一考察	花岡朗和 [上越教育大学大学院] 清水雅之 [上越教育大学] 山西潤一 [富山大学]

《2-J 教員研修、教員養成》座長：八木澤史子（千葉大学）



2-J-1	教員が授業中に観察した事象を即時共有する際の視点の把握の試み	堀田雄大 [熊本大学大学院] 八木澤史子 [千葉大学] 三井一希 [山梨大学] 佐藤和紀 [信州大学] 堀田龍也 [東京学芸大学]
2-J-2	共通フレーム「デジタル・タキソミー・テーブル」を活用した「深い学び」を促す授業デザインの実践	古賀隆一郎 [墨田区立錦糸中学校] 宇佐見智子 [墨田区立錦糸中学校]
2-J-3	探究的な学習の充実によるエージェンシーの育成 －複線（クラウド）型学習と自由選択学習の実践－	鈴木優庸 [つくば市立竹園東中学校]
2-J-4	授業改善を目指した個々の教員の主体的な学びのための研修方法の効果	亀村美咲 [砺波市立庄川小学校]

《2-K 校務の情報化》座長：梶本 佳照（新見公立大学）



2-K-1	校務DXの推進Googleサイト、ロイロノート・スクールの活用	新山直樹 [六ヶ所村立南小学校]
2-K-2	チャットを利用した研究紀要の検討過程に対する事例分析	小松良介 [長野県伊那市立伊那小学校] 佐藤和紀 [信州大学]
2-K-3	隙間と時間を創り出すことで時間外勤務3割削減	篠原真 [相模原市立清新小学校]
2-K-4	クロームブックを中心としたICT機器の効果的な活用	久保竜之助 [相模原市立小中学校視聴覚教育研究会、相模原市立田名中学校]

《2-L その他》座長：小島亜華里（奈良教育大学）



2-L-1		
2-L-2	算数における知識習得を目指した個別最適な学びの実現のための指導体制	前川幸範 [瀬戸SOLAN学園初等部] 泰山裕 [中京大学]
2-L-3	低学年の個人探究における教師の支援のあり方 －1年生の個人探究の実践事例より－	樋口万里子 [瀬戸SOLAN学園初等部] 小島亜華里 [奈良教育大学]
2-L-4	問いを持つ力と探究学習の関連性の検討 －小学1年生の児童を対象に－	長谷川智哉 [瀬戸SOLAN学園初等部] 小島亜華里 [奈良教育大学]

《2-M その他》座長：中尾教子（神奈川工科大学）



2-M-1	係活動におけるグループチャットの活用に対する児童の意識調査	安野剛平 [栃木県壬生町睦小学校] 稲木健太郎 [鳴門教育大学] 佐藤和紀 [信州大学]
2-M-2	教科書の使い方の指導に対する小中学校教師の意識の調査 －義務教育学校の教師の困難感・不安感に着目して－	中尾教子 [神奈川工科大学] 八木澤史子 [千葉大学] 堀田龍也 [東京学芸大学教職大学院]
2-M-3	中学生の定期テストの学習計画をクラウドで共有した際の自律的な学習への影響の検討	吉村燦我 [富士市立富士南中学校] 佐藤和紀 [信州大学]
2-M-4	生徒の「心の健康状態」を把握する手段としての1人1台端末活用に対する教職員の認識に関する一考察	本田智弘 [春日井市立中部中学校] 山崎寛山 [見附市立西中学校] 佐藤和紀 [信州大学]

《3-A 情報活用能力の育成等／J. その他》座長：倉田伸（長崎大学）



3-A-1	小学校6年生におけるセンサとアクチュエータを用いたプログラミング学習の可能性と児童の気づき	田中萌 [川崎市立月越小学校] 額田一利 [e-craft] 安藤明伸 [広島工業大学]
3-A-2	学習の基盤の視点からの情報カリキュラムの検討	荒谷達彦 [瀬戸SOLAN学園初等部] 林向達 [瀬戸SOLAN学園初等部] 泰山裕 [中京大学]
3-A-3	プログラミング教育の充実に関する研究	須藤雄紀 [相模原市教育センター] 生田由季 [相模原市立共和小学校]
3-A-4	中学校社会科地理的分野における生徒の「レリバンス」の実感とARCSモデルとの関係性の分析	山内佳鈴 [山梨大学大学院教育学研究科] 木野裕太 [山梨大学大学院教育学研究科] 三井一希 [山梨大学教育学部]



《3-B 情報モラル、情報セキュリティ／その他》座長：岸磨貴子（明治大学）

3-B-1	小学校における公共の責任を学ぶ協働的なデジタルシティ ズンシップ教育の実践の提案	土信田幸江 [埼玉県戸田市立戸田東小学校] 今度珠美 [関西大学大学院]
3-B-2	コンピュータ1人1台時代の善き使い手を目指す情報活用 能力の育成 ー情報モラルハンドブックを活用した授業実践ー	荒木和人 [相模原市立大沢小学校、相模原市立小中学校視聴覚教育研究会] 長尾圭 [相模原市立小中学校視聴覚教育研究会、相模原市立清新小学校]
3-B-3	探求活動って評価できるの？ ～多様な生徒の多様な学びと学び方を捉える視点とその方法～	川井田友紀 [東京都立八王子桑志高等学校] 武田廉 [東京都立八王子桑志高等学校] 綿田奈月 [立川地区チャレンジスクール開設準備室] 岸磨貴子 [明治大学]
3-B-4	教科型プロジェクト学習における主体的・協働的な問いの 設定を支援する授業デザインの評価	大崎貢 [瀬戸SOLAN学園] 泰山裕 [中京大学]



《3-C 教科指導におけるICT活用》座長：北澤武（東京学芸大学）

3-C-1	生成AIを活用した作文指導の実践	折田真一 [葛飾区立東金町小学校] 北澤武 [東京学芸大学大学院教育学研究科]
3-C-2	学びの多様化学校生の心に寄り添う 新スピロオーバー型 Meta教育の実践的研究	大倉俊亮 [星槎もみじ中学校] 渡部恭輔 [星槎もみじ中学校] 峨家大尚 [株式会社きたまいか] 竹澤聡 [株式会社きたまいか] 岡本哲朗 [株式会社きたまいか]
3-C-3	エネルギー・環境問題を主体的・対話的に考える ～ICTを活用してエネルギー・環境問題を考える～	八日市律子 [京都市立大淀中学校]
3-C-4	不登校特例校における課題解決型独自コンテンツによる VR教育の実践的研究	峨家大尚 [学校法人国際学園 星槎もみじ中学校] 渡部恭輔 [学校法人国際学園 星槎もみじ中学校] 大倉俊亮 [学校法人国際学園 星槎もみじ中学校] 伊藤貴之 [株式会社きたまいか] 熊澤智朗 [株式会社きたまいか] 竹澤聡 [株式会社きたまいか]



《3-D 教科指導におけるICT活用》座長：高橋信幸（岡山理科大学）

3-D-1	「桃太郎電鉄 教育版」における児童の物件編集機能の利用 傾向の分析 ー小学5年生を対象とした試行実践を通してー	小池翔太 [東京学芸大学附属小金井小学校]
3-D-2	タブレットPC 1人1台の活用環境による主体的・対話的 な学びの創造 ～アプリの効果的な活用法～	小室南 [相模原市立小中学校視聴覚教育研究会、相模原市立川尻小学校]
3-D-3	1人1台情報端末を活用した中学校体育の授業における模 倣の種類分析	大島玄聖 [春日井市立高森台中学校] 久川慶貴 [東京学芸大学大学院連合学校教育研究科] 高橋純 [東京学芸大学]
3-D-4	インタラクティブ動画教材による個別最適な学び	武田尚大 [春日井市立高森台中学校] 小川晋 [春日井市立高森台中学校] 水谷年孝 [春日井市教育委員会] 高橋純 [東京学芸大学]



《3-E 教科指導におけるICT活用》座長：大久保紀一郎（京都教育大学）

3-E-1	日常生活の中から考えるICT教材を用いた広域展開と授業 実践の提案	坂梨知 [港区立小中一貫教育校お台場学園港陽中学校]
3-E-2	小学校社会科におけるAIの活用 ～ChatGPTを活用して～	中岡正年 [和歌山大学教育学部附属小学校] 豊田充崇 [和歌山大学大学院]
3-E-3	1人1台情報端末での他者参照を取り入れた際の中学校第 1学年の数学科の苦手意識に与える影響の一考察	山中梨乃 [富士市立吉原第三中学校] 遠藤みなみ [富士市立岩松中学校] 佐藤和紀 [信州大学]
3-E-4	アジャイル型協働学習と探究的な学習の学習過程を組み合 わせた小学校中学年の授業実践と評価	稲葉柊那 [東京学芸大学教育学部] 豊田大登 [葛飾区立東金町小学校、東京学芸大学大学院連合学校教育研究科] 北澤武 [東京学芸大学大学院教育学研究科]

《3-F 教科指導におけるICT活用》座長：登本洋子（東京学芸大学）



3-F-1	インクルーシブな学びと戦術的な気付きを促す体育授業の実践 ～ARスポーツ「HADO」の活用とゲーム中心の指導を通して～	幸田佳久 [つくば市立みどりの学園義務教育学校]
3-F-2	小学校学習者用デジタル教科書を活用した授業における、 児童の変化	森下耕治 [光村図書出版株式会社] 加藤直樹 [東京学芸大学] 谷川航 [小平市立小平第三小学校]
3-F-3	教科書に掲載されている図版のウェブコンテンツ所在調査 ～小学校6年生社会科を対象にして	阿見雄之 [東京国立博物館] 榎本聡 [日本女子大学] 大井将生 [人間文化研究機構] 有山裕美子 [滋賀文教短期大学] 江草由佳 [国立教育政策研究所] 高久雅生 [筑波大学]
3-F-4	自ら考えを形成し、発信できる児童の育成－「個別最適な 学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた。交流 の場の工夫－	阿藤将太郎 [那覇市立松島小学校]



《3-G 教科指導におけるICT活用》座長：小林祐紀（放送大学）

3-G-1	中学校数学における振り返りの記述内容と得点力の関係か らみる指導の改善 ～タブレット端末または紙のメディアの選択から～	石橋皓一朗 [京都市立衣笠中学校] 村田晋太郎 [三重大学]
3-G-2	ICTを活用した学び方の工夫による情報活用能力の育成 ～第5学年算数科「小数のわり算」を題材に～	佐久間理志 [つくば市立竹園西小学校]
3-G-3	思考力・判断力・表現力を高めるための国語科指導実践 ～複数の文章を比較して自分の考えを広げるための効果的 なICT活用を通して～	倉持克矢 [つくば市立竹園西小学校]
3-G-4	自由選択・自由進度学習を支えるICT活用 ～子どもに委ねる授業で確かな学力の向上へ～	宮本豪 [つくば市立島名小学校]



《3-H メディア教育、メディア・リテラシー／その他》座長：今度珠美（関西大学大学院）

3-H-1	ヘイトスピーチについて考えるメディアリテラシー教育教 材の事例研究	今度珠美 [関西大学大学院]
3-H-2	ディープフェイクと画像加工について学ぶデジタル・シテ ィズンシップ教育教材の開発	田中栄太郎 [日本女子大学附属豊明小学校] 今度珠美 [関西大学大学院]
3-H-3	生徒たち自身のメディア・リテラシーに関する探究活動の 実践	長澤元子 [北海道函館西高等学校] 豊福晋平 [国際大学GLOCOM]
3-H-4	「ICT化が進む社会」における公民館の現状と課題	宮田恵実 [日本女子大学] 榎本聡 [日本女子大学]



《3-I 教員研修、教員養成》座長：佐藤和紀（信州大学）

3-I-1	遠隔合同授業×ICT活用×総探学習＝学舎を越えた協働的 な学びへの挑戦	安見孝政 [京都府立宮津天橋高等学校] 中根新 [京都府立丹後緑風高等学校]
3-I-2	遠隔地を結ぶ授業研究と研修モデルの開発 ～メタバースを活用した授業研究のあり方～	三浦泰幸 [北海道深川市立深川小学校] 黒坂俊介 [北海道岩見沢市立第二小学校] 田中美咲 [北海道浦臼町立浦臼小学校]
3-I-3	GIGAスクール構想の伴走・支援に関する調査	佐藤和紀 [信州大学] 板垣翔大 [宮城教育大学] 大久保紀一朗 [京都教育大学] 泰山裕 [中京大学] 三井一希 [山梨大学]
3-I-4	初任者研修におけるチャットを活用した講義メモに関する 効果の検討	望月覚子 [春日井市教育委員会] 石原浩一 [春日井市立松原小学校] 水谷年孝 [春日井市教育委員会] 高橋純 [東京学芸大学]



《 3-J 教員研修、教員養成 》 座長：泰山裕（中京大学）

3-J-1	肢体不自由のある児童生徒に対する効果的な介助及び指導支援方法に関する教員の技術の短期習得を目指して	三堀正貴 [広島県立福山特別支援学校] 高橋和葉 [広島県立福山特別支援学校] 井上歩美 [広島県立福山特別支援学校]
3-J-2	ICT活用推進リーダーの校内で普及・推進を行う際の要因	藤倉新 [徳島県教育委員会 教育DX推進課] 泰山裕 [中京大学 教養教育研究院]
3-J-3	つくばから創出！世界のリーダーとして活躍できる人材を！！～生成AIを活用するための教員研修の工夫を通して～	大坪聡子 [つくば市教育委員会]
3-J-4	学校公開「オープンデイ」の実践 －学校の特色を活かした学生向け学校公開－	佐藤匠 [東京学芸大学教育学部] 豊田大登 [東京学芸大学大学院連合学校教育学研究所] 河村麻里 [葛飾区立東金町小学校] 北澤武 [東京学芸大学大学院教育学研究所]



《 3-K 校務の情報化 》 座長：三井一希（山梨大学）

3-K-1	公立小学校における汎用のチャットを活用した情報共有に関する事例研究	垣内友加里 [春日井市立藤山台小学校] 久川慶貴 [東京学芸大学大学院連合学校教育学研究所] 高橋純 [東京学芸大学]
3-K-2	教員指導環境改善の方策に関する一考察と提言 －教員が授業に集中できるSOLAN学園の試みから－	長尾幸彦 [学校法人SOLAN学園、株式会社教育システム]
3-K-3	業務において学習者用端末を使用し始めた指導主事の端末活用に関する実態及び意識の調査	片山賢 [さいたま市立教育研究所] 堀田雄大 [熊本大学大学院] 三井一希 [山梨大学] 佐藤和紀 [信州大学]
3-K-4	学校と保護者間の連絡のペーパーレス化の促進要因と阻害要因に関する実態把握の試み	岡村篤 [富士市立青葉台小学校] 堀田雄大 [熊本大学大学院] 三井一希 [山梨大学] 遠藤みなみ [富士市立岩松中学校]



《 3-L その他 》 座長：吉崎静夫（日本女子大学）

3-L-1	個人探究を支援する人材バンクの構築と評価	榊原史 [瀬戸SOLAN学園初等部] 三宅貴久子 [瀬戸SOLAN学園初等部] 泰山裕 [中京大学] 稲垣忠 [東北学院大学]
3-L-2	学習指導案への学習指導要領コード付与に関する教職課程学生の意識調査	榎本聡 [日本女子大学] 大井将生 [人間文化研究機構] 高久雅生 [筑波大学] 阿児雄之 [東京国立博物館] 有山裕美子 [滋賀文教短期大学] 江草由佳 [国立教育政策研究所]
3-L-3	リーディングDXスクール事業の生成AIパイロット校に見る活用実践の整理と考察	吉澤日花里 [株式会社内田洋行 教育総合研究所] 井上信介 [株式会社内田洋行 教育総合研究所] 西本周平 [株式会社内田洋行 教育総合研究所] 志儀孝典 [株式会社内田洋行 教育総合研究所]
3-L-4	タブレットを活用した観測・観察活動により、児童に科学的な概念を育ませるための実践 －気象条件と植物の成長との関連を追及させる活動を通して－	塚田 輝司 [鹿児島市立和田中学校]

第三回「教育の情報化」実践セミナー 2025 in茨城つくばのご案内 (茨城つくば大会プレ大会)

2025年度の全日本教育工学研究協議会全国大会は、第51回として茨城つくば大会を開催します。本セミナーは、そのプレ大会として実施いたします。各公開授業校に現在までの取り組み状況を報告していただき、本大会に向けてのさらなる議論の活性化・研究の深化を目指します。

基調講演には、東京学芸大学教職大学院・教授／学長特別補佐の堀田龍也先生に「GIGAスクール構想で創る次世代の学び」と題してご登壇いただくとともに、2つのパネルディスカッションと最新のICT機器、アプリ、コンテンツ等の展示見学も実施致します。全国からの多くの皆様のご参加をお待ちしております。

- テーマ：** つくばから発信！未来を創造する次世代の学び
日時： 2025年2月7日（金）13:00～16:30（受付開始／企業展示12:30～）
会場： カピオ ホール（TXつくばエクスプレス「つくば駅」下車 A3出口より徒歩10分）
主催／共催： 日本教育工学協会（JAET）／いばらきコンピュータ活用教育ネットワーク／つくば市教育委員会／（一社）日本教育情報化振興会
後援： 茨城県教育委員会
参加対象者： 教員・教育委員会・情報に関する行政担当者・研究者・学生・企業
定員： 200名
参加費： 無料

第51回全日本教育工学研究協議会全国大会(茨城つくば大会)のご案内

本年度の東京都港区大会に続き、来年度第51回の記念大会となる全国大会は、茨城県つくば市で開催します。来年度は、ますますご好評いただいている公開授業を、幼・小・中・義務教育学校・高校といった幅広い様々な校種で行うとともに、研究協議会、基調講演、パネルディスカッション、研究発表、企業製品紹介、トークセッションなど、現場の先生が知りたい情報や役に立つ内容のプログラムを盛り沢山で予定しています。ぜひご期待ください。

- テーマ：** つくばから発信！未来を創造する次世代の学び
日時： 2025年11月14日（金）・15日（土）
会場： つくば国際会議場
主催： 日本教育工学協会（JAET）
共催： いばらきコンピュータ活用教育ネットワーク／つくば市教育委員会／（一社）日本教育情報化振興会
後援： （申請予定）文部科学省、総務省、茨城県教育委員会 他
参加対象者： 小中高等学校・特別支援学校教育及び教育関係者、大学研究者、学生、教育関連企業等
公開授業校： つくば市立竹園東幼稚園・つくば市立竹園東小学校・つくば市立竹園西小学校・つくば市立竹園東中学校・つくば市立みどりの学園義務教育学校・茨城県立竹園高等学校

※詳細は、大会ホームページ (<https://smartconf.jp/content/jaet2025/>) でご案内してまいります。

つばやき

年末に文部科学省からさまざまな資料が公開されました。「初等中等教育段階における生成 AIの利活用に関するガイドライン」の改訂版や、「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」の速報結果など、関連領域で重要な資料が公開されましたが、その中でも重要なのは、「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について（諮問）」でしょう。本格的に学習指導要領の改定の議論が始まることを意味します。

その中では、学習者主体の学びや学習指導要領の理念の共有、そして、デジタル学習基盤を前提とした学

びの在り方などが課題として挙げられています。今後、情報活用能力の育成や探究的な学びの在り方などが論点として挙げられています。

JAETで会員の皆様が検討、議論してきた1人1台端末を活用した授業のあり方や情報活用能力の体系的な育成に関する実践的な知見の重要性がますます増しているように感じます。

デジタル学習基盤を前提として、これからの社会を生きる子どもたちの資質・能力をどのように育成していくのかを今後も考えていきたいと思えます。(Y.T)

編集委員

委員長 原 克彦
 委員 泰山 裕
 〃 長谷川 弘

委員 片岡 義順
 〃 若槻 徹

事務局 渡辺 浩美
 〃 河合 将治
 制作 西島 将範